

## 事業評価（案）

評価時点：事前評価

計画名称：社会資本総合整備計画事業

- ・生活空間における交通安全対策（第3期）（防災・安全）

《建設局土木部道路環境課》

## 公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

(1) 概要									
計画(事業)の名称		生活空間における交通安全対策（第3期）（防災・安全）							
計画(事業)の期間		令和8年度～令和12年度（5年間）							
計画の目標		歩行空間の確保等の通学路における安全対策を実施することにより、安心して安全な生活空間を確保する。							
計画の成果目標 (定量的指標)		市内の人口10万人あたりの歩行中死傷事故件数を35%低減する							
		整備予定路線における死傷事故件数を35%低減する。							
定量的指標 の定義及び 算定式	指標				定量的指標の現況値及び目標値				
					当初現況値	中間目標値		最終目標値	
					(年度)	(年度)		(年度)	
		指標①	対象期間内における市内の歩行中交通事故低減率 (1-(R10-12人口10万人あたりの歩行中死傷事故件数の平均)/ (R4-6人口10万人あたりの歩行中死傷事故件数の平均)) × 100			0%	-		35%
指標②	対象期間内に整備予定路線の死傷事故低減率 (1-(R10-12整備予定路線の死傷事故件数)/ (R4-6整備予定路線の死傷事故件数)) × 100			0%	-		35%		
指標③									
全体事業費	合計(A+B+C)	3,811 (百万円)	A	3,811 (百万円)	B	- (百万円)	C	- (百万円)	

(様式1)

## (2) 交付対象事業の詳細

## A 道路事業(基幹事業)

番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益費 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R8	R9	R10	R11	R12		
1	(国) 122号 (西町)	道路	歩道整備 L=0.7km	-	■	■	■			100	
2	(主) さいたま幸手線 (常盤)	道路	歩道整備、無電柱 化 L=0.8km	-	■	■	■	■	■	600	
3	(一) 蒲生岩槻線 (釣上)	道路	歩道整備 L=1.4km	-	■	■	■			300	
4	(一) 鴻巣桶川さいたま線 (北袋町)	道路	歩道整備、無電柱 化 L=0.5km	-	■	■	■			300	
5	(一) 大間木蕨線 (東浦和)	道路	歩道整備、無電柱 化 L=1.1km	-	■	■	■	■	■	500	
6	(一) 上野さいたま線 (中釘)	道路	歩道整備 L=0.2km	-	■	■	■	■	■	350	
7	(都) 御蔵中央通線	道路	自歩道整備 L=0.24km	-	■	■	■	■	■	341	
8	(市) 32462号線 (西郵便局通 り)	道路	自歩道整備 L=0.5km	-	■	■	■	■	■	814	
9	(主) 川口上尾線 (東町)	道路	交差点改良	-	■	■	■	■	■	506	
10											
11											
12											
合計 (9事業)										3,811	
B 関連社会資本整備事業											
1											
合計 (〇〇〇〇事業)											
C 効果促進事業											
1											
合計 (〇〇〇〇事業)											

担当部局

建設局土木部道路環境課  
TEL : 829-1490 FAX : 829-1988 E-mail : doro-kankyo@city.saitama.lg.jp

# 社会資本総合整備計画

生活空間における交通安全対策（第3期）（防災・安全）

事前評価

令和8年1月23日  
建設局土木部道路環境課



# 整備計画の概要

## 計画の名称

生活空間における交通安全対策（第3期）（防災・安全）

## 計画の目標

歩行空間の確保等の通学路における安全対策を実施することにより、安心して安全な生活空間を確保する

## 計画期間

令和8年度～令和12年度（5年間）

## 重点計画

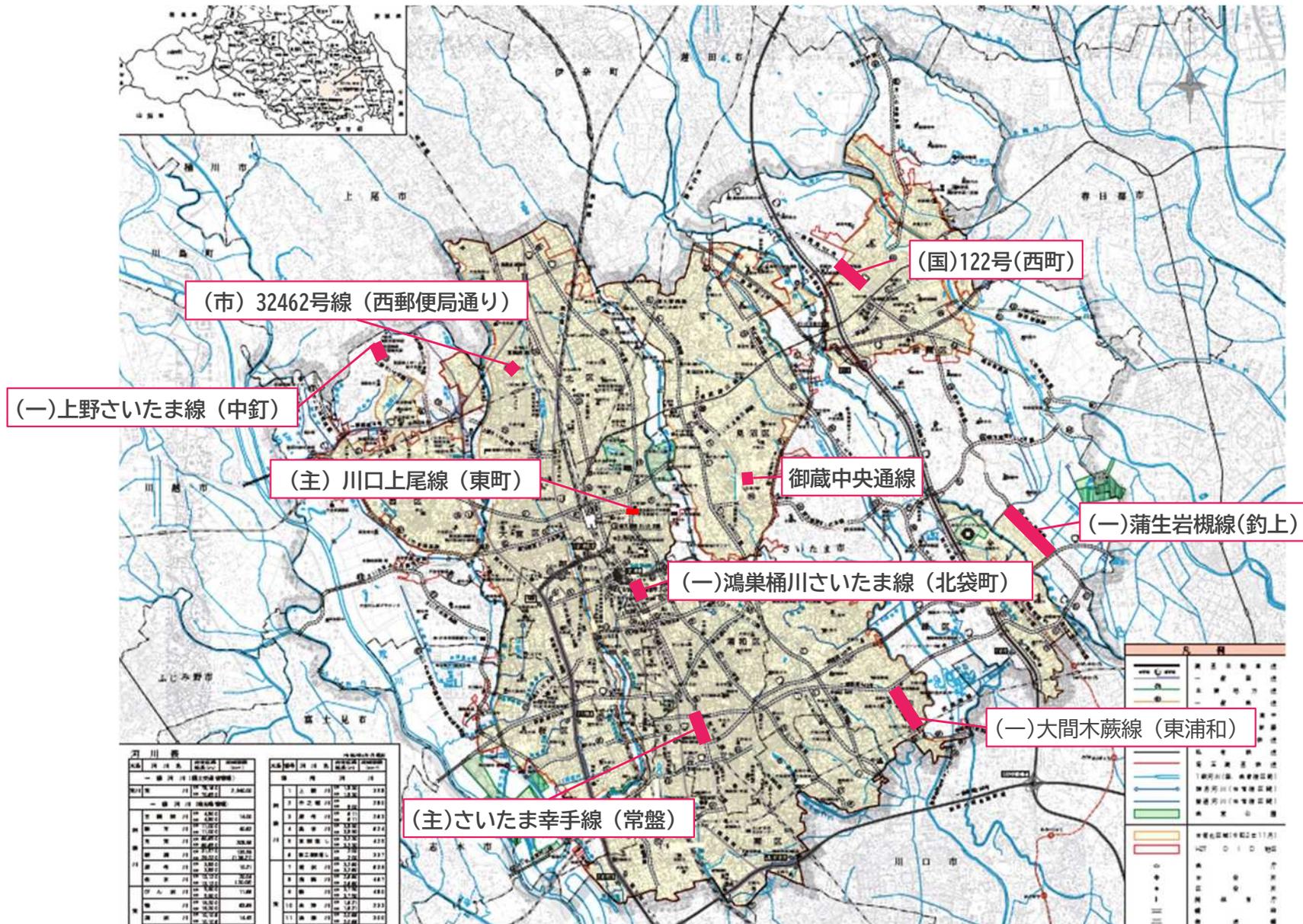
対象：通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策事業

番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	事業実施年度					全体事業費 (百万円)
				R8	R9	R10	R11	R12	
1	(国) 122号(西町)	道路	歩道整備 L=0.7km	■	■	■			100
2	(主) さいたま幸手線(常盤)	道路	歩道整備、無電柱化 L=0.8km	■	■	■	■	■	600
3	(一) 蒲生岩槻線(釣上)	道路	歩道整備 L=0.5km	■	■	■			300
4	(一) 鴻巣桶川さいたま線(北袋町)	道路	歩道整備、無電柱化 L=0.5km	■	■	■			300
5	(一) 大間木蕨線(東浦和)	道路	歩道整備、無電柱化 L=0.5km	■	■	■	■	■	500
6	(一) 上野さいたま線(中釘)	道路	歩道整備 L=0.2km	■	■	■	■	■	350
7	(都) 御蔵中央通線	道路	自歩道整備 L=0.24km	■	■	■	■	■	341
8	(市) 32462号線(西郵便局通り)	道路	自歩道整備 L=0.5km	■	■	■	■	■	814
9	(主) 川口上尾線(東町)	道路	交差点改良	■	■	■	■	■	506



# 交付対象事業の位置図

■ 要素事業





# さいたま市通学路安全プログラム概要

## さいたま市通学路交通安全推進協議会（H26.3設置）

目的：さいたま市の児童生徒が安全に通学できるように交通安全対策を継続的に推進する。

組織：交通管理者、国道事務所、市道路管理者、市民生活安全課、各区くらし応援室  
埼玉大学附属小学校、さいたま市小・中学校校長会、教育委員会

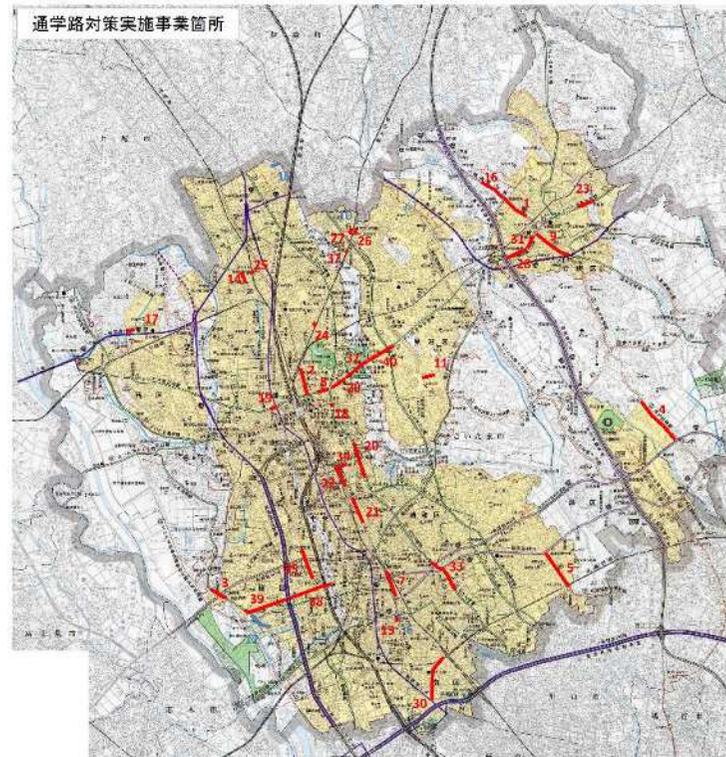


通学路の交通安全に寄与する事業を位置づけ

## 通学路安全交通プログラム

### 主な対策内容

- 歩道整備事業
- 交差点改良事業
- ゾーン30プラス  
（面的な生活道路整備）
- 踏切改良事業（歩道拡幅）  
など



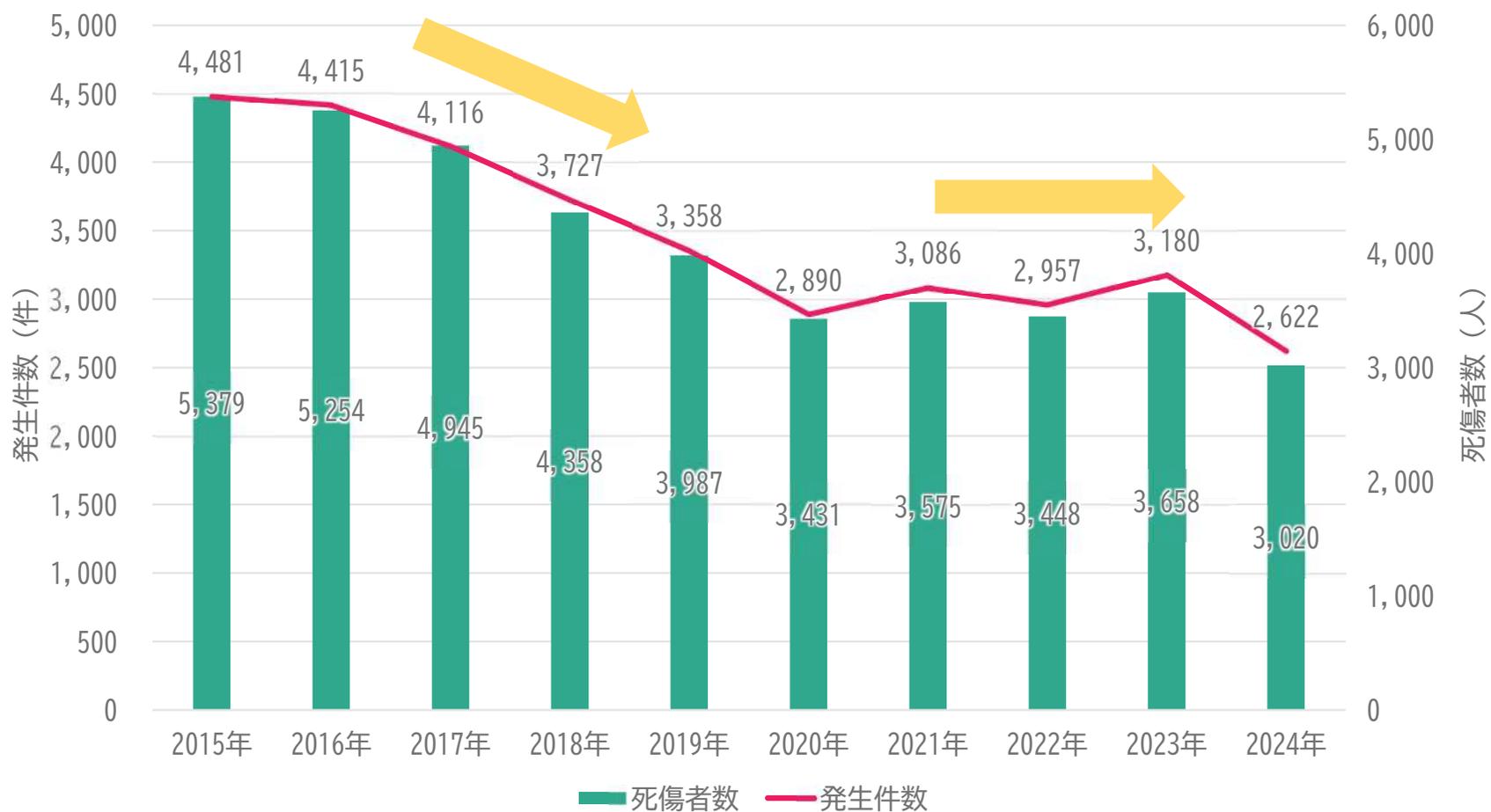
No.	実施箇所	実施内容	完了状況
1	西區 102号	歩道拡幅	完了済
2	東區 東區 101号	歩道拡幅	
3	東區 東區 101号	歩道拡幅	
4	東區 東區 101号	歩道拡幅	
5	東區 東區 101号	歩道拡幅	
6	東區 東區 101号	歩道拡幅	100
7	東區 東區 101号	歩道拡幅	
8	東區 東區 101号	歩道拡幅	
9	東區 東區 101号	歩道拡幅	
10	東區 東區 101号	歩道拡幅	100
11	東區 東區 101号	歩道拡幅	
12	東區 東區 101号	歩道拡幅	100
13	東區 東區 101号	歩道拡幅	
14	東區 東區 101号	歩道拡幅	
15	東區 東區 101号	歩道拡幅	100
16	東區 東區 101号	歩道拡幅	
17	東區 東區 101号	歩道拡幅	
18	東區 東區 101号	歩道拡幅	
19	東區 東區 101号	歩道拡幅	
20	東區 東區 101号	歩道拡幅	
21	東區 東區 101号	歩道拡幅	
22	東區 東區 101号	歩道拡幅	
23	東區 東區 101号	歩道拡幅	
24	東區 東區 101号	歩道拡幅	
25	東區 東區 101号	歩道拡幅	
26	東區 東區 101号	歩道拡幅	
27	東區 東區 101号	歩道拡幅	
28	東區 東區 101号	歩道拡幅	
29	東區 東區 101号	歩道拡幅	
30	東區 東區 101号	歩道拡幅	
31	東區 東區 101号	歩道拡幅	
32	東區 東區 101号	歩道拡幅	
33	東區 東區 101号	歩道拡幅	
34	東區 東區 101号	歩道拡幅	
35	東區 東區 101号	歩道拡幅	
36	東區 東區 101号	歩道拡幅	
37	東區 東區 101号	歩道拡幅	
38	東區 東區 101号	歩道拡幅	
39	東區 東區 101号	歩道拡幅	
40	東區 東區 101号	歩道拡幅	



# さいたま市の事故発生状況

## 交通事故発生状況

市内の事故状況については、2015-2020年の間は、死傷者数は減少傾向であった。2021-2024間は、死傷者数及び事故件数は概ね横ばいとなっている。





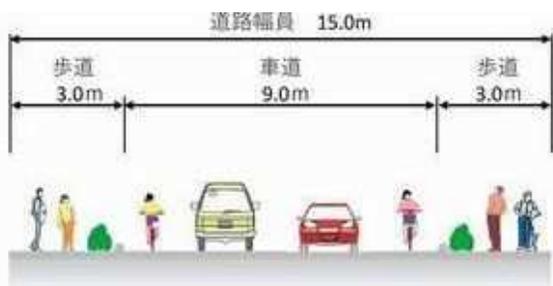
# 主要要素事業の概要

## 主要地方道さいたま幸手線(常盤)

### 位置図



### 横断図



### 整備状況



### 事業実施期間、交付対象事業費

R8	R9	R10	R11	R12	事業費
■	■	■	■	■	600百万円

### 事業内容

歩道整備、電線共同溝整備 L=0.8km

### 事業進捗

事業進捗率：57% (R7.3末時点)

用地買収率：82% (R7.3末時点)

### 事業概要

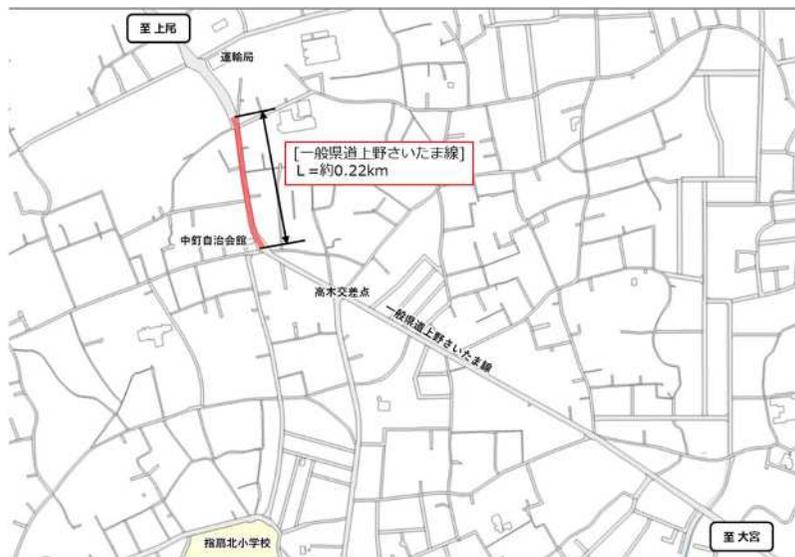
本道路は、歩行者や自動車交通量が多く、円滑な交通ネットワークを形成する重要な路線であり、仲町小学校の通学路として利用されています。当該区間は中心市街地に位置し、南北の区間は、歩道整備が完了されていますが、本区間は歩道が未整備の状況です。本事業を実施することで、安全安心な歩行空間の確保し、良好な道路環境を創出します。



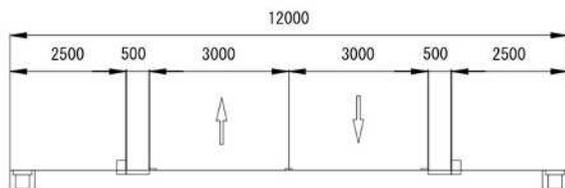
# 主要要素事業の概要

## 一般県道上野さいたま線（中釘）

### 位置図



### 横断図



### 現地状況



### 事業実施期間、交付対象事業費

R8	R9	R10	R11	R12	事業費
■	■	■	■	■	350百万円

### 事業内容

歩道整備 L=0.2km

### 事業進捗

事業進捗率：1%（R7.3末時点）

用地買収率：0%（R7.3末時点）

### 事業概要

本道路は、自動車交通量が多く、指扇北小学校と指扇中学校の通学路として利用されておりますが、現在の幅員は狭く、本区間は歩道が未整備の状況です。

本事業を実施することで、安全安心な歩行空間の確保し、良好な道路環境を創出します。



# 指標の設定について

## 指標設定の考え方

本計画は、通学路等における歩行者の安全性向上を通じて、市内全体の交通事故の低減に寄与することを目的としています。そのため、成果指標については、市内全体を対象としたものと、整備予定路線を対象にしたもの2つを設定しております。

## 計画の成果目標①

市内の人口10万人あたりの歩行中死傷事故件数を35%低減する。

本市全体の歩行者の安全性を示すアウトカム指標として、市内全道路を対象に、人口規模の変化を補正した10万人あたりの歩行中死傷事故件数を用います。これにより、通学路対策に限らず、他の補助制度や単独事業、交通安全教育等を含む総合的な取組の成果として、市全体の安全性向上の程度を把握します。

## 定量的指標の定義及び算定式

対象期間内における市内の歩行中交通事故低減率

$$\frac{(1 - (R10-12 \text{人口10万人あたりの歩行中死傷事故件数の平均}))}{(R4-6 \text{人口10万人あたりの歩行中死傷事故件数の平均})} \times 100$$

現況値	中間目標値	最終目標値
0%	---	35%
35.0件（参考）	---	22.6件（参考）



# 指標の設定について

## 計画の成果目標②

整備予定路線における死傷事故件数を35%低減する。  
本計画に位置付けた事業の直接的な効果を評価するアウトカム指標として整備前後の死傷事故件数を設定します。

## 定量的指標の定義及び算定式

対象期間内に整備予定路線の死傷事故低減率  
$$\frac{(1 - (\text{R10-12整備予定路線の死傷事故件数}))}{(\text{R4-6整備予定路線の死傷事故件数})} \times 100$$

現況値	中間目標値	最終目標値
0%	---	35%
54件（参考）	---	35件（参考）